

これからの1000年を紡ぐ企業認定 認定企業一覧

アボワールインターナショナル株式会社



代表：中村 真由美 | MAYUMI NAKAMURA

ADD：〒600-8492

京都市下京区四条通新町東入月鉾町39-1
四条烏丸大西ビル9F

URL：avoir-kyoto.com

MAIL：info@avoir.co.jp

乳がんを経験しても、自信を持って生きることのできる社会をつくりたい

○事業概要

乳がん経験者の女性専用下着を開発、加工販売をしています。術後の傷跡のケアや機能面はもちろんのこと、見た目にも鮮やかな下着を届けることで、女性の「お洒落を楽しみたい」という気持ちも同時に応援します。

○事業を通じて実現したい未来

乳がんで女性が命や乳房を失わなくていい日が来るのを切に願っています。これが、当初から今までずっと変わらない私の願いです。患者さん同士が励まし合い、乳がんを乗り越え、そしてさらに輝かしい人生を送っていける。アボワールの商品を通して、そんな社会をつくっていきたくです。

○審査会での評価ポイント

乳がん患者のコミュニティを構築し続ける取組を実施し、患者の声を聞いてメーカーや医療関係者を巻き込みながら新商品の開発を進めてきた。乳がん患者が自信を持って生きる社会に貢献する事業を展開していることを評価しました。

株式会社L&Gグローバルビジネス



代表：龍崎 翔子 | SHOKO RYUZAKI

ADD：601-8041

京都市南区東九条南烏丸町16

URL：www.lngglobiz.com

MAIL：info@lng-globiz.co.jp

「ライフスタイルにおいて、選択肢の多様性のある社会」をつくるための引き金になる

○事業概要

「ライフスタイルを試着する」場である「メディアとしてのホテル」の運営を起点に、WEBや紙のメディア、ITサービスを通した新しい旅行体験の設計など、日常の様々なシーンで新しい選択肢を提案する事業を幅広く展開しています。

○事業を通じて実現したい未来

消費活動を含めた日常の小さな選択がその人のアイデンティティを育むと考えると、様々な背景を持った1人1人が自分らしく生きるためには社会に選択肢の多様性が必要です。私達は、まだこの世界にない選択肢を提示することで、ライフスタイルのあらゆるシーンにおいて選択肢の多様性のある社会の実現に貢献します。

○審査会での評価ポイント

ホテルを軸とした事業を通じて新たなライフスタイル提案や地域貢献など、特定の社会課題の解決に限定することなく取組を進めてきた。自分らしさを尊重することにより、社会に選択肢の多様性を生み出している点を評価しました。

株式会社ナルスコーポレーション



代表：川崎 元士 | MOTOJI KAWASAKI

ADD：〒615-8530

京都市西京区京都大学桂
船井交流センター102号室

URL：www.nahls.jp

MAIL：info@nahls.jp

研究開発を基盤とした、人々の健康で快適な生活に貢献する新しい価値の創造

○事業概要

京都大学と大阪市立大学の共同研究で見出された、肌に塗布することで細胞を活性化し、皮膚の重要な構成成分を産生させる革新的なスキンケア素材「ナルスゲン®」を使った化粧品原料および自社化粧品の製造・販売を行っています。

○事業を通じて実現したい未来

口腔、皮膚等のバリア機能を高めることで皮膚疾患・皮膚老化に起因する病気に悩む人々を助け、健康寿命が延伸されて、元気で活躍する高齢者が多い社会の実現に貢献したい。さらに研究を進めてより詳細な作用機序を解明し、広く社会に役立つ、科学的根拠に基づく新たな原料や製品の開発を目指します。

○審査会での評価ポイント

シニアによる研究開発型の創業で、健康長寿社会に貢献することを目指した研究開発を実施してきた。社会に役立つさらなる可能性の広がりを求めて、科学的根拠に基づく新たな原料や製品の開発を目指している点を評価しました。

株式会社FUKUDA



代表：福田 喜之 | YOSHIYUKI FUKUDA

ADD：〒607-8170

京都市山科区大宅向山6番地

URL：www.fukudalub.co.jp

MAIL：info@fukuda-lub.co.jp

液体輸送の課題解決に取り組み、あらゆる液体のラストワンマイルを届ける！

○事業概要

お客様と当社の共通課題である潤滑油に関わる作業を改善したいと思い、残量検知と量り売りサービスを開発しました。作業環境の改善とコスト削減を実現し、またドラム缶の廃棄物削減など通じて、環境負荷の低減にも貢献しています。

○事業を通じて実現したい未来

化石燃料が使われなくなる将来を見据えて、今まで培った経験とノウハウを活かして開発した残量検知と自動配送システムで、あらゆる液体輸送の課題解決に取り組んでいきます。顧客先までの間(ラストワンマイル)で頻りに発生している液体輸送の課題を解決し、誰もが必要とする液体にアクセスしやすい社会を目指します。

○審査会での評価ポイント

従来の潤滑油販売のビジネスモデルを転換し、顧客先での量り売りと残量検知システムで、ドラム缶販売という業界の常識を覆した。また、化石燃料からの脱却を見据え、液体輸送の課題解決を図ろうとしている点を評価しました。